CineMate® 15/10

home theater system

Owner's Guide | คู่มือผู้ใช้ | 사용자 안내서 | 用户指南 |
使用者指南 | オーナーズガイド | دليل المالك

安全上の留意項目

このオーナーズガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを、お客様に注意喚起するものです。

警告:

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、製品内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- 電池はお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。CineMate®10 systemに付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻なやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。バッテリーカバーがきちんと閉まらない場合は、リモコンの使用をやめてお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体の中に入ってしまったと思ったら、すぐに医師の診断を受けてください。リモコンの電池を誤って取り扱ったり、誤って交換した場合、破裂や火災、化学物質で皮膚が侵される危険性があります。また、分解や充電、焼却を行ったり、100℃以上の熱を与えないようにしてください。3Vリチウムボタン電池の CR2032またはDL2032に交換してください。使用済みの電池は速やかに処分してください。
- CineMate®15 systemに付属のリモコンの電池を交換する場合は、単三形(IEC LR06)アルカリ乾電池を使用してください。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。

注意:

許可なく製品を改造しないでください。安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。

警告:

のどに詰まりやすい小さな部品が含まれている場合があります。3歳未満のお子様には適していません。

警告:

この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。

注記:

- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は室内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 付属のケーブル類は、壁内や天井裏、床下等の隠ぺい配線用ではありません。隠ぺい配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。

CE This product conforms to all applicable EU Directive requirements. The complete Declaration of Conformity can be found at www.Bose.com/compliance

安全上重要な指示

1. このガイドをよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。

© 2014 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用し、ボーズ社の指示に従って行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源アダプターやコードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ずメーカーにより指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. サービスが必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源アダプターやコードの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

注記: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements						
	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
Part Name	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	O	O	O	O	O
Metal parts	X	O	O	O	O	O
Plastic parts	O	O	O	O	O	O
Speakers	X	O	O	O	O	O
Cables	X	O	O	O	O	O
O: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006.						
X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006.						

控えとして、製品のシリアル番号を下の欄にご記入ください。

シリアル番号は、Acoustimass®モジュールの端子パネルおよびサウンドバーの底面に記載されています。モデル番号は端子パネルに記載されています。

Acoustimass®モジュールのシリアル番号: _____

サウンドバーのシリアル番号:_____

モデル番号:_____

購入日:_____

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

目次

はじめに

CineMate® 15/10 home theater speaker systemについて 6
システムの特長 6

システムのセットアップ

ステップ1: 内容物の確認 7
ステップ2: システムの設置 8
ステップ3: Acoustimassモジュールにゴム足を取り付ける 8
ステップ4: Acoustimass®モジュールにサウンドバーを接続する 9
ステップ5: 音声ケーブルを選択する 10
ステップ6: 音声ケーブルをテレビに接続する 11
ステップ7: 音声ケーブルをサウンドバーに接続する 12
光ケーブル接続時の注意 13
ステップ8: システムへの電源の接続 14
ステップ9: テレビの内蔵スピーカーをオフにする 14
テレビの内蔵スピーカーがオフになっていることを確認するには 14
ステップ10: サウンドを確認する 15
ステップ11: 低音の音量を調節する 15

別の接続方法を使用する

別の接続方法 16
システムをCATV/BS/CS用チューナーの音声出力端子に接続する 16
システムをテレビのヘッドホン出力端子に接続する 17
システムに機器を2台接続する 18

目次

システムの使用

システムの電源を入れる....20
オートスリープ機能について....20
オートスリープ機能を無効にするには....20
オートスリープ機能を有効にするには....20
システムの動作状態の確認....21
リモコンについて....22
CineMate® 15 system用ユニバーサルリモコンで外部機器を操作できるように設定する....23
コードの確認....23
コードの入力....23
コードのテスト....23
電源ボタンをカスタマイズする....24
CATV/BS/CS用チューナーとテレビをもう一度同期する....24
外部機器を切り替える....24
音量を調節する....25
機能ボタン....25
CineMate® 10 system用リモコンを使用する....26
CineMate® 15 system用ユニバーサルリモコン(オプション)....26
他社製リモコンを使用する....26

お手入れについて

故障かな？と思ったら....27
リモコンの電池を交換する....29
CineMate® 15 system用リモコン....29
CineMate® 10 system用リモコン....29
お手入れについて....30
お問い合わせ先....30
保証....30
仕様....30

はじめに

CineMate® 15/10 home theater speaker systemについて

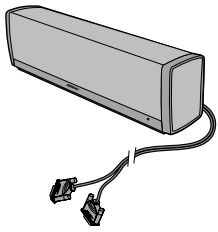
- CineMate® 15 systemは光沢仕上げの製品で、金属製グリルとプログラム可能なユニバーサルリモコンが付属しています。
- CineMate® 10 systemはマット仕上げの製品で、布製グリルとリモコンが付属しています。

システムの特長

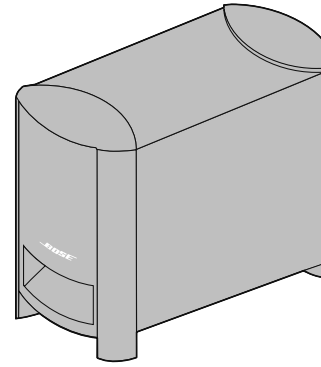
- 洗練されたエレガントなデザインのサウンドバー
- Acoustimass®モジュールが豊かな重低音を再生
- セットアップが簡単で、音声ケーブル1本でテレビに直接接続
- プログラム可能なユニバーサルリモコンを使って、テレビ、CATV/BS/CS用チューナー、システムの電源をボタン1つでオン/オフ(CineMate® 15 system)
- Videostage®およびTrueSpace®テクノロジーにより、スピーカーを5台使用するホームシアターシステムと同等の迫力あるサウンドを1台のサウンドバーで実現

ステップ1: 内容物の確認

箱の中身を取り出して、下図の付属品がすべて同梱されていることを確認してください。

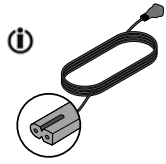


サウンドバー
(スピーカーケーブル接続済み)



Acoustimass®モジュール

ゴム足

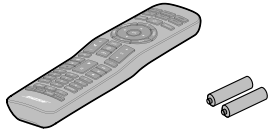


電源コード

光ケーブル

同軸ケーブル
(ヨーロッパのみ)

アナログケーブル



CineMate® 15 system用
ユニバーサルリモコン

または

CineMate® 10 system用リモコン

付属の電源コードは購入された国によって異なります。

注記: 万一、開梱時に付属品の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はお止めください。

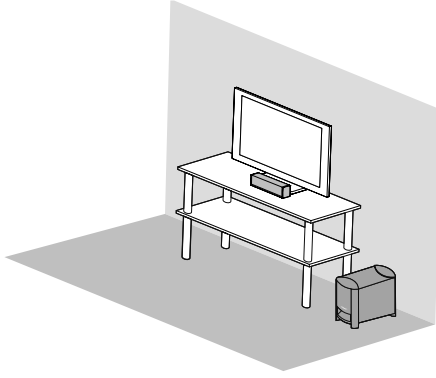
箱と梱包材は、輸送用として後日使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

ステップ2: システムの設置

以下のガイドに従って、最高の音質をお楽しみください。

設置のためのガイド

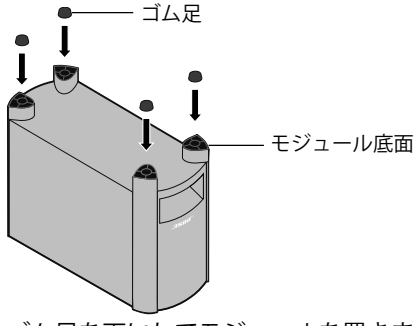
機器	設置の手順
Acoustimass® モジュール	• モジュールをテレビと同じ壁に沿って置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。 • 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。 • モジュールとサウンドバーは最大で3 mまで離すことができます。
サウンドバー	• サウンドバーをテレビの前に置きます。 • サウンドバーを戸棚の中に設置しないでください。



ステップ3: Acoustimassモジュールにゴム足を取り付ける

床を保護するため、Acoustimass®モジュールにゴム足を取り付けます。

1. モジュールを上下逆にして置きます。
2. モジュールの底面にゴム足を取り付けます。



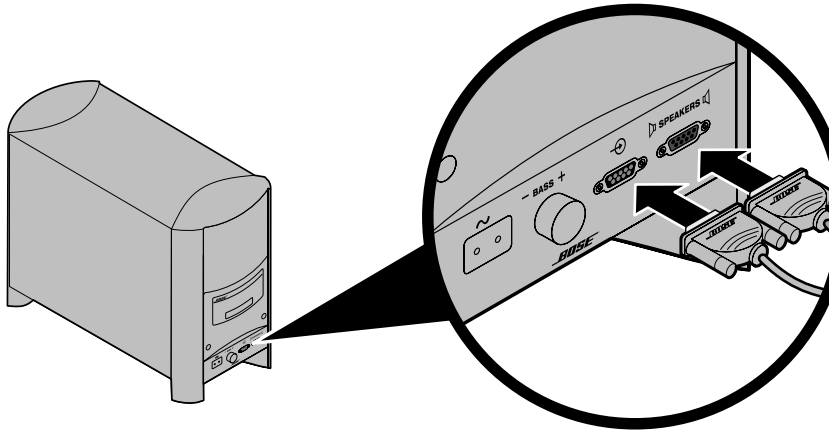
3. ゴム足を下にしてモジュールを置きます。

ステップ4: Acoustimass®モジュールにサウンドバーを接続する

サウンドバーのスピーカーケーブルにはプラグが2つあります。

1. Boseのロゴを上に向けて、2つのプラグを持ちます。
2. 左側のプラグをモジュールの ⊖ 端子に接続します。
3. 右側のプラグをモジュールの SPEAKERS 端子に接続します。

注意: 向きを間違えて差し込むと、ケーブルやAcoustimass®モジュールの端子が破損する場合があります。



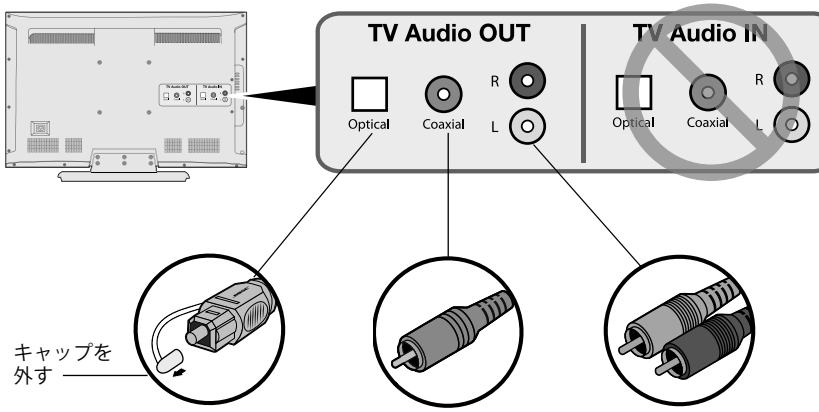
ステップ5: 音声ケーブルを選択する

システムには複数の音声ケーブルが付属している場合があります。音声ケーブルは**1本だけ**使用してください。

注記: 音声ケーブルは**テレビの音声出力**端子に接続する必要があります。

1. テレビの背面にある[**音声出力**]端子を探します。

音声ケーブルは**1本だけ**選択



光デジタル音声接続

最適な音響パフォーマンスを得るには、光デジタル音声接続をお使いください。

同軸デジタル音声接続

光デジタル音声接続を使用できない場合は、この接続をお使いください。

アナログステレオ音声接続

光デジタルまたは同軸デジタル音声接続を使用できない場合は、この接続をお使いください。

2. 音声ケーブルを選択します。

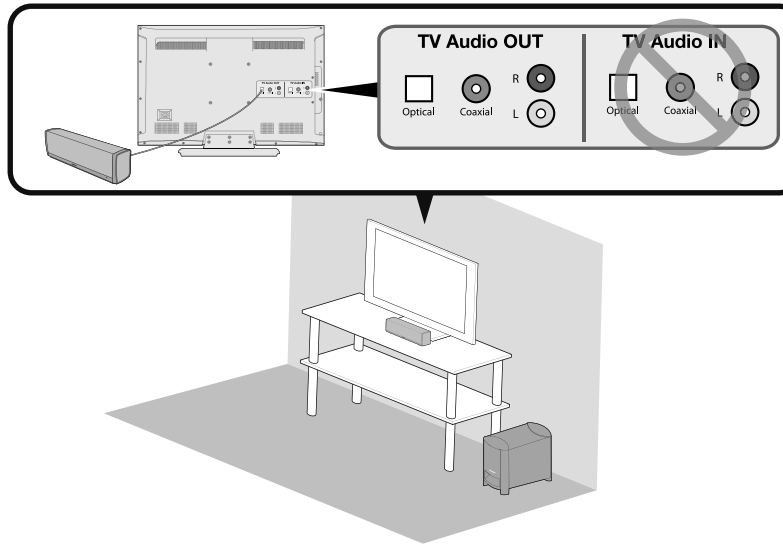
注記: テレビに音声出力がない場合は、他の機器(CATV/BS/CS用チューナーなど)の音声出力を使用してください。「別の接続方法」(16ページ)をご覧ください。

ステップ6: 音声ケーブルをテレビに接続する

音声ケーブルの一方を適切な[**音声出力**]端子に接続します。

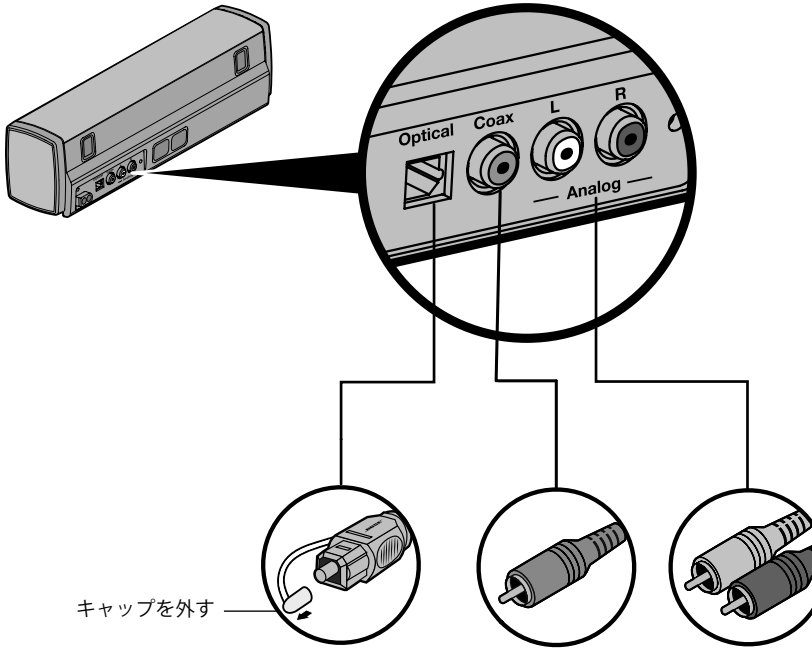
注意: 光ケーブルを使用する場合は、ケーブル両端のプラグから保護キャップを取り外します。[**音声出力**]端子に合わせて、正しい向きでプラグを持ちます。CineMate® 15/10 systemの端子方向と異なる場合は、プラグを回してください。

音声ケーブルは**1本だけ**使用



ステップ7: 音声ケーブルをサウンドバーに接続する

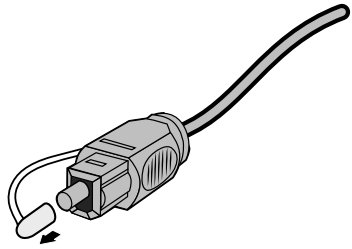
音声ケーブルの反対側のプラグを、サウンドバーの対応する音声入力端子に差し込みます。



注意: 光ケーブルを使用する場合は、13ページの注意をご覧ください。

光ケーブル接続時の注意

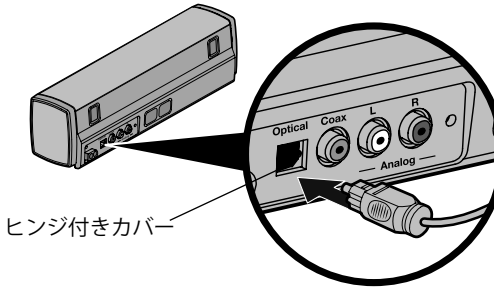
1. ケーブル両端のプラグから保護キャップを取り外します。



2. Boseロゴのある側を下にして光ケーブルのプラグを持ちます。

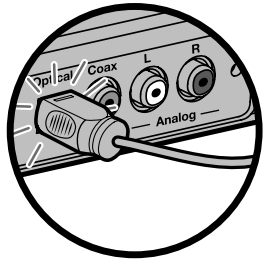
3. プラグの向きをサウンドバーの **Optical** 端子に合わせて、慎重に差し込みます。

注記: 端子にはカバーが付いていて、プラグを差し込むとカバーが開きます。



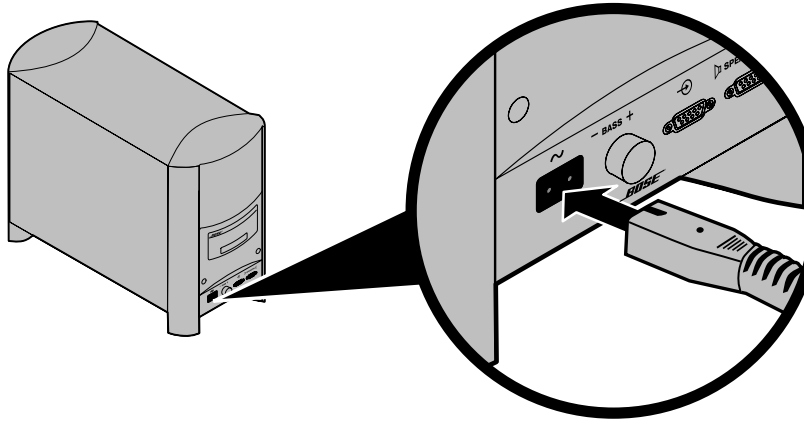
注意: プラグの向きを間違えて差し込むと、プラグや端子が破損するおそれがあります。

4. カチッと言う音が聞こえるまでプラグをしっかり差し込みます。



ステップ8: システムへの電源の接続

1. 電源コードをAcoustimass®モジュールの ～ 端子に接続します。



2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。

ステップ9: テレビの内蔵スピーカーをオフにする

CineMate® 15/10 systemでテレビの音声を最高の音質で再生するには、テレビの内蔵スピーカーをオフにします。

詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

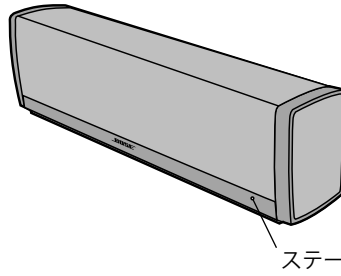
テレビの内蔵スピーカーがオフになっていることを確認するには

1. CineMate® 15/10 system用リモコンの 🔇 ボタンを押します。

2. テレビから音が出ていないことを確認します。

ステップ10: サウンドを確認する

1. テレビの電源をオンにします。
2. リモコンの ⏻ ボタンを押します。
   ステータスインジケーターが白で点灯します。

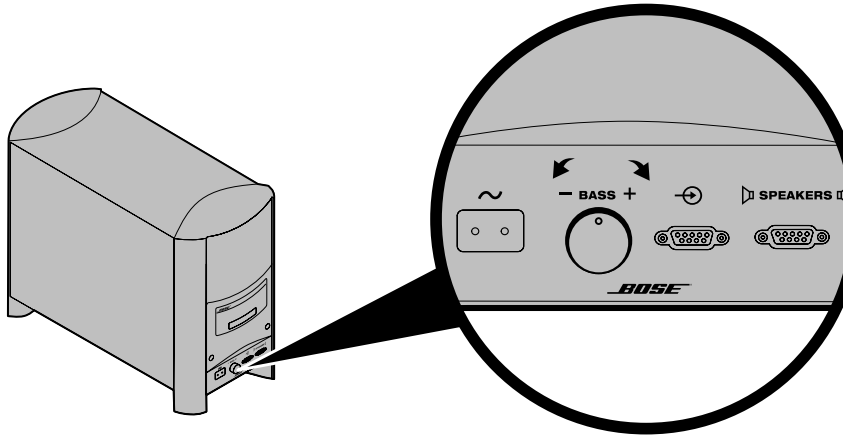


3. サウンドバーから音が出ているかどうか確認します。

   注記: テレビの内蔵スピーカーがオフになっていることを確認するには、14ページをご覧ください。CineMate® 15/10 systemから音が出ない場合は、「故障かな？と思ったら」(27ページ)をご覧ください。

ステップ11: 低音の音量を調節する

Acoustimass®モジュールの低音調節用つまみを使って、システムから出力される低音の音量を調節できます。低音調節用つまみを右に回すと低音の音量が上がり、左に回すと低音の音量が下がります。



別の接続方法

以下のような場合は、別の接続方法をお試しください。

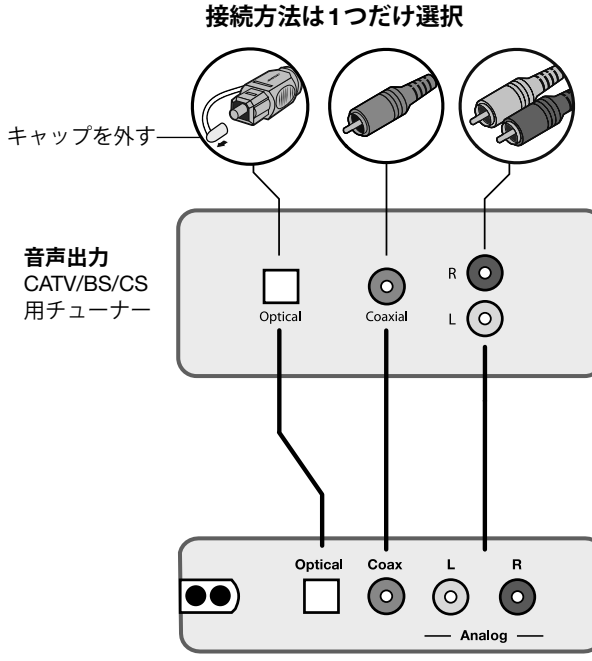
- **テレビに音声出力端子がない場合や、テレビからCineMate® 15/10 systemに音声が送られない場合**。「システムをCATV/BS/CS用チューナーの音声出力端子に接続する」または「システムをテレビのヘッドホン出力端子に接続する」(17ページ)をご覧ください。
- **テレビに接続したDVDプレーヤーの音声が聞こえない場合**。「システムに機器を2台接続する」(18ページ)をご覧ください。

システムをCATV/BS/CS用チューナーの音声出力端子に接続する

CATV/BS/CS用チューナーをCineMate® 15/10 systemに接続できます。音声ケーブルは**1本だけ**使用してください。

注意: 光ケーブルを使用する場合は、「光ケーブル接続時の注意」(13ページ)の注意をご覧ください。

1. CATV/BS/CS用チューナーの背面にある[**音声出力**]端子を探します。



音声入力 CineMate® 15/10 system

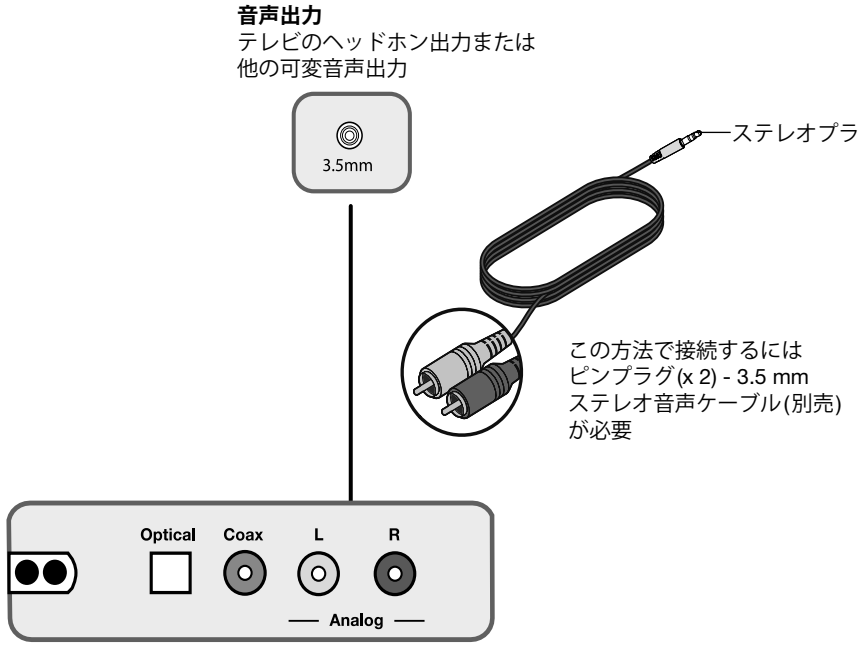
2. 音声ケーブルを選択します。

3. CATV/BS/CS用チューナーの[**音声出力**]端子に接続した音声ケーブルをサウンドバーに接続します。

システムをテレビのヘッドホン出力端子に接続する

テレビにヘッドホン出力しかない場合、CineMate® 15/10 systemに接続するには、ピンプラグ(x 2) - 3.5mmステレオ音声ケーブル(別売)が必要です。

1. テレビのヘッドホン出力端子にステレオ音声ケーブルのプラグを差し込みます。
2. 白いプラグをサウンドバーの**L**側端子に接続します。
3. 赤いプラグをサウンドバーの**R**側端子に接続します。
4. テレビの内蔵スピーカーがオンになっていることを確認します。詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
5. システムの音量を最適なものにするには、テレビの音量を最大の75%程度に合わせてから、リモコンでシステムの音量を調節します。



音声入力 CineMate® 15/10 system

別の接続方法を使用する

システムに機器を2台接続する

DVDプレーヤーやゲーム機などをテレビに接続している場合に、機器の音声がCineMate® 15/10 systemから出力されないときは、機器をシステムに個別に接続する必要があります。機器は同時に2台まで接続できます(テレビを含む)。

注記: CineMate® 15/10 systemに機器を2台接続する場合、使用しない機器の電源はオフにしてください。機器の電源を常にオンにしておく必要がある場合は、この接続方法を使用できません。

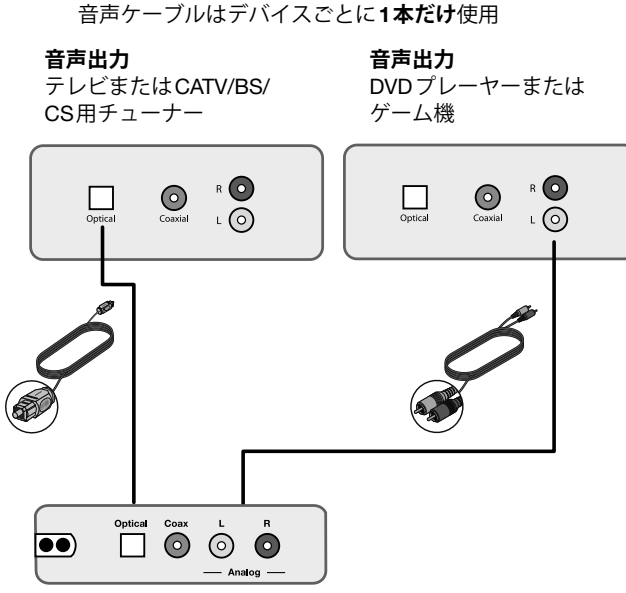
注意: 光ケーブルを使用する場合は、「光ケーブル接続時の注意」(13ページ)の注意をご覧ください。

1. 機器の背面にある[**音声出力**]端子を探します。
2. オプションAまたはオプションBのいずれかを使用して、機器ごとに別の音声ケーブルを選択します(18ページを参照)。

   注記: 必ずオプションAまたはオプションBのどちらかを使用してください。同軸ケーブルと光ケーブルは同時に使用できません。
3. 選択した音声ケーブルをそれぞれの機器の[**音声出力**]端子とサウンドバーに接続します。

オプションA

この図は、光ケーブルとアナログケーブルを使用して機器を2台接続する場合です。



音声入力 CineMate® 15/10 system

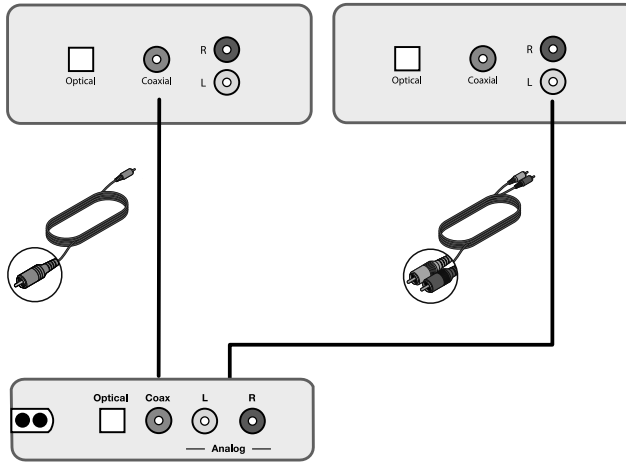
オプションB

この図は、同軸ケーブルとアナログケーブルを使用して機器を2台接続する場合です。

音声ケーブルはデバイスごとに**1本だけ**使用

音声出力
テレビまたはCATV/BS/
CS用チューナー

音声出力
DVDプレーヤーまたは
ゲーム機



音声入力 CineMate® 15/10 system

システムの使用

システムの電源を入れる

リモコンの ⏻ ボタンを押します。

オートスリープ機能について

CineMate® 15/10 systemを電源に接続したまま音声を再生しない状態が1時間経過すると、システムの電源は自動的にオフになるオートスリープ機能があります。

オートスリープ機能を無効にするには

1. リモコンの ⏻ ボタンを 6 ～ 10 秒間長押しします。
   システムからビープ音が聞こえます。
2. ⏻ ボタンから指を放します。

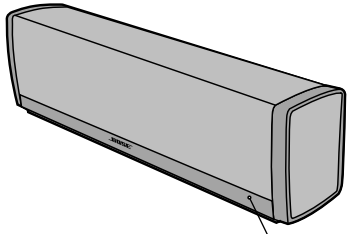
オートスリープ機能を有効にするには

1. リモコンの ⏻ ボタンを 6 ～ 10 秒間長押しします。
   システムからビープ音が聞こえます。
2. ⏻ ボタンから指を放します。

システムの動作状態の確認

サウンドバーの前面にあるステータスインジケーターには、システムの動作状態が表示されます。

インジケーターの表示	システムの状態
消灯	オフ
点灯	オン
連続して点滅	ミュート
1回点滅	リモコンからコマンドを受信しました
2回点滅	システムの音量が最大または最小レベルに達しています
3回点滅	オートスリープ機能の無効/有効が切り替わりました (20ページを参照)
10回点滅して消灯	システムにAC電源が供給されました



ステータスインジケーター

システムの使用

リモコンについて

リモコンを使用して、システムに接続した外部機器の操作、システムの音量の調節、チャンネルの変更、再生機能の操作、CATV/BS/CSチューナーの機能の有効化、システムメニューの操作などを行うことができます。

外部機器の選択

テレビに接続した機器を選択します

Bose®システムの電源をオン/オフします

選択した機器の電源をオン/オフします

ナビゲーションパッド

ビデオに録画されている番組を一覧表示します

インターネットテレビのホームページを表示します

前のチャンネル/チャプター/トラックに移動します

再生コントロール部

テレビの縦横比

文字多重放送（ヨーロッパ）

字幕表示

機能ボタン (25ページを参照)

CineMate® 15 system用ユニバーサルリモコンで外部機器を操作できるように設定する

ユニバーサルリモコンを設定して、テレビ、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー、CATV/BS/CS用チューナー、ゲーム機、HDDレコーダーなどを操作できます。

注記: 一部の機器はユニバーサルリモコンに対応していない場合があります。詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。

コードの確認

リモコンにはさまざまなメーカーのコードを設定できます。

1. 接続機器の電源をオンにします。
2. 付属の『ユニバーサルリモコン設定コード表』に、接続機器のメーカー名が記載されているか確認します。

コードの入力

リモコンの設定を行う前に、接続機器のメーカーのコード4桁を入力します。

1. リモコンの該当する接続機器ボタンを長押しして、6つの接続機器ボタンが点灯したら指を放します。

   たとえば、テレビを操作できるようにプログラムする場合は、TV ボタンを長押しします。

   該当する接続機器ボタンのみが点灯します。

2. 数字キーパッドを使って、機器のメーカーの設定コードを入力します。

   注記: 6つのボタンが3回点滅したら、入力したコードは間違っています。手順1と2をやり直してください。

コードのテスト

コードを入力したら、接続機器の基本機能をテストします。機器を操作できない場合は、設定コードを順番に試していくコードスキャナーを使用して、新しいコードを探します。

1. 音量+ボタンを押します。
2. 接続機器の基本機能をテストします。
   - **テレビ**: チャンネルボタンを押します。MENU を押します。設定メニューが表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **CATV/BS/CSチューナー**: GUIDE ボタンを押します。番組表が表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー**: GUIDE ボタンを押します。設定メニューが表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **ゲーム機**: ◀ ボタンと ▶ ボタンを押してメニューを操作します。

   注記: 接続機器の基本操作を操作できない場合は、手順1と2を繰り返します。機器のコードをすべて試し終わったら、6つのボタンが3回点滅します。
3. EXIT ボタンを押して、設定を保存して終了します。

電源ボタンをカスタマイズする

リモコンの ⏻ (電源ボタン)をカスタマイズして、CineMate® 15 system、テレビ、CATV/BS/CS用チューナーの電源を同時にオン/オフすることができます。

1. テレビやCATV/BS/CS用チューナーを操作できるようにリモコンを設定します(23ページを参照)。
2. **CBL-SAT** ボタンと **TV** ボタンを同時に10秒間長押しします。

   両方のボタンが3回点滅します。

CATV/BS/CS用チューナーとテレビをもう一度同期する

電源ボタンをカスタマイズすると、CATV/BS/CS用チューナーとテレビの同期が解除され、電源が同時にオン/オフできなくなる場合があります。次の手順で、システムをもう一度同期してください。

1. 同期が解除された機器に対応する接続機器ボタンを押します。
2. **Source**⏻ ボタンを押して、機器の電源をオン/オフします。
3. ⏻ ボタンを押します。

   機器の電源が同時にオン/オフされます。

外部機器を切り替える

操作の対象となる機器を切り替えるには、リモコンの接続機器ボタンのうち該当するものを押します。リモコンでは、選択した外部機器の操作だけでなく、CineMate® 15 systemのスピーカーの基本機能(オン/オフ、音量、消音)をいつでも操作できます。

注記: 操作を始める前に、機器を操作できるようにリモコンを正しく設定していることを確認してください。

1. 操作したい接続機器に対応する「接続機器ボタン(TV、CBL/SATなど)」を押します。

   接続機器ボタンが点灯します。
2. **Source**⏻ を押します。

   接続機器の電源がオンになります。
3. **TV Input** ボタンを押して、適切なテレビ入力を選択します。

   接続機器用の入力を選択するには、**TV Input** ボタンを何回か押す必要がある場合もあります。

   一部のテレビでは、**TV Input** ボタンを押すとメニューが表示されます。CineMate® 15/10 system用リモコンを使用して、適切なテレビ入力を選択し、このメニューを閉じます。

音量を調節する

リモコンで次のように操作します。

- ＋ボタンを押すと、音量が段階的に上がります。
- －ボタンを押すと、音量が段階的に下がります。
- 🔇 ボタンを押すと、音声がミュート(一時消音)またはミュート解除されます。

注記: テレビの内蔵スピーカーがオフになっていることを確認するには、14ページをご覧ください。

機能ボタン

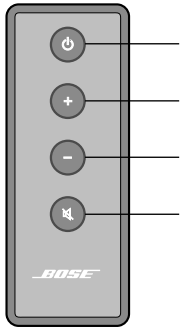
リモコンの赤、緑、黄、青の各ボタンは、CATV/BS/CSチューナーや文字多重放送のカラーボタンの機能に対応しています。

- CATV/BS/CSチューナーの機能については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 文字多重放送では、画面のページ番号、見出し、ショートカットなど、カラーボタンで操作できる機能に対応しています。
- テレビからAAC+1音声が供給された場合、リモコンの緑ボタンを5秒間長押しするたびに主音声、副音声、主＋副音声に切り替わります。

システムの使用

CineMate® 10 system用リモコンを使用する

CineMate® 10 system用リモコンを使用して、システムを操作できます。リモコンをシステムに向け、ボタンを押してください。



システムの電源をオン/オフする

音量を上げる(＋)

音量を下げる(－)

システムをミュート/ミュート解除する
テレビからAAC+1音声が供給された場合、このボタンを5秒間長押しするたびに主音声、副音声、主＋副音声に切り替わります。

CineMate® 15 system用ユニバーサルリモコン(オプション)

CineMate® 15 system用ユニバーサルリモコンを別途購入してご利用になれます。このリモコンは、CineMate® 10 systemの操作が可能で、設定によってテレビやCATV/BS/CS用チューナーなどの機器を操作することもできます。詳しくは、ユーカスタマーサービスまたは販売店へお問い合わせください。連絡先については、日本語オーナーズガイドの「お問い合わせ先」をご覧ください。

他社製リモコンを使用する

CATV/BS/CSチューナーのリモコンなど、Boseリモコン以外のリモコンをプログラムしてシステムを操作できます。手順については、リモコンの取扱説明書や、ケーブルテレビや衛星放送のWebサイトをご覧ください。

プログラムが完了すると、電源のオン/オフや音量の調節など、基本的な機能を他社製リモコンで操作できるようになります。

故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
電源が入らない	• モジュールの電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ちます。 • モジュールの電源コードに傷などがないか確認します。 • モジュールの電源コードをもう一度コンセントにしっかりと接続します。インジケーターが10回点滅します。 • リモコンを使用して、システムの電源がオンになることを確認します。
音が出ない	• CineMate® 15/10 systemが消音状態でないことを確認します。 • 音量を上げます。 • Acoustimass®モジュールの電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認します。 • 音声ケーブルがテレビの[**音声出力**]や[**Audio OUT**]などの端子に正しく接続されていることを確認します([音声入力]や[Audio IN]などは使用しません)。 • サウンドバー、テレビ、その他の接続機器の全てのケーブルが正しくしっかりと接続されていることを確認します。光ケーブルを使用する場合は、13ページの注意をご覧ください。 • 正しいテレビ入力が選択されていることを確認します(24ページを参照)。 • テレビの音声出力が有効になっていることを確認します。詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。 • サウンドバーをテレビの「可変音声出力」に接続している場合は、テレビの内蔵スピーカーがオフになっていて、テレビの音量が最大の75%程度に設定されており、さらにテレビが消音状態でないことを確認します。 • 別の接続方法をお試しください(16ページを参照)。 • テレビのヘッドホン出力に接続している場合は、テレビの音量を最大まで上げます。 • 機器を2台接続している場合は、光ケーブルと同軸ケーブルを使用していないことを確認します。 • モジュールの電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ちます。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	• リモコンに電池が正しく挿入されているか、交換の必要がないかを確認します(29ページを参照)。 • リモコンの音量ボタンまたは 🔇 ボタンを押した時、サウンドバーの電源ランプが点滅することを確認します。 • CineMate® 15 system用リモコンの場合: - 操作対象の外部機器の方向にリモコンを向けて操作してください。 - 音量ボタンを押した時、選択中の外部機器のボタンが点滅することをご確認ください。 • モジュールの電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ちます。

お手入れについて

トラブル	対処方法
音声が歪む	• サウンドバー、テレビ、その他の接続機器の全てのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 • サウンドバーをテレビの「可変音声出力」に接続している場合は、テレビの音量を小さくしてください。 • モジュールの電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ちます。
テレビから音が出る	• テレビの内蔵スピーカーをオフにします(14ページを参照)。 • テレビの音量を最小に設定します。
リモコンでCATV/BS/CS用チューナーとテレビの同期が解除されている(CineMate® 15のみ)	• 電源ボタンを正しくカスタマイズしていることを確認します(24ページを参照)。 • CATV/BS/CS用チューナーとテレビをもう一度同期します(24ページを参照)。

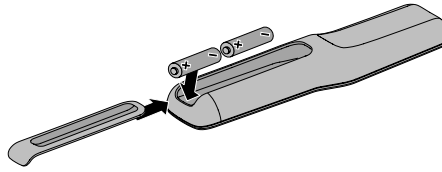
リモコンの電池を交換する

CineMate® 15 system用リモコン

リモコン操作ができなくなったり、操作できる距離が短くなった場合には、両方の電池を交換してください。アルカリ乾電池をご使用ください。

1. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして開きます。
2. 2本の乾電池を取り出します。

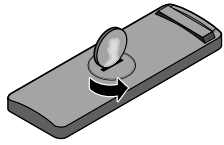
   使用済み電池の処分方法については、お住まいの地域の関連法令に従ってください。
3. 単三形アルカリ乾電池2本を入れます。電池ケースに表示されている＋と－の向きと、乾電池の＋と－の向きを正しく合わせてください。
4. 電池カバーをスライドして元に戻します。



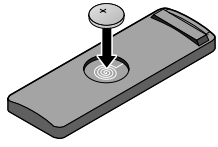
CineMate® 10 system用リモコン

リモコン操作ができなくなったり、操作できる距離が短くなった場合には、電池を交換してください。リチウム電池をご使用ください。

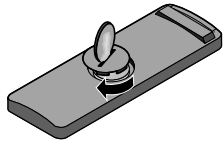
1. 硬貨などを使用して電池カバーを少し左に回します。



2. カバーを取り外して使用済みの電池を取り出し、＋極の表示を上に向けて新しい電池(CR2032またはDL2032)を装着します。



3. カバーを元に戻し、右に回してロックします。



お手入れについて

- CineMate® 15/10 systemの外装は柔らかい布でから拭きしてください。
- CineMate® 15/10 systemの近くでスプレーを使用しないでください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に液体が入らないようにしてください。
- サウンドバーのグリルは特にお手入れの必要はありませんが、弱いパワーでブラシ付きの掃除機をかけてもかまいません。

お問い合わせ先

故障、修理、製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　カスタマーサービス
お客様専用ナビダイヤル　0570-080-021

修理品のお送り先

ボーズ株式会社　サービスセンター
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル
※修理品をご送付いただく際の電話番号は、上記ナビダイヤルをご記入ください

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。製品のご登録をお願いいたします。登録は、http://global.Bose.com/registerから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

仕様

電源定格

100V ～ 240V⁓ 50/60 Hz 300W

サウンドバー

外形寸法: 8.5 cm (H) x 30.5 cm (W) x 7.0 cm (D) (3.3"H x 12.0"W x 2.8"D)

質量: 約1.3 kg (2.9 lb)

Acoustimass®モジュール

外形寸法: 36.7 cm (H) x 22.2 cm (W) x 48.5 cm (D) (14.5"H x 8.8"W x 19.1"D)

質量: 約10.6 kg (23.3 lb)

©2014 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM715535 Rev.03